

第 15 回サッカースタジアム検討協議会の議事結果について

○ 議事結果

以下の(1)～(3)について事務局から説明し、委員による議論が行われた。

(1) LCC（ライフサイクルコスト）の試算 【資料 2、参考資料 1】

・提出資料により LCC の試算の流れや需要予測、LCC 試算の考え方について議論した。

⇒ 原案通り承認された。今後、資料の方針に基づき試算を行い、次回協議会でその結果を提示することとなった。

(2) 候補地別評価 【資料 3・4、参考資料 2・3】

・提出資料により候補地別評価について議論した。

次のような議論を踏まえて、会長と事務局で資料を修正し、各委員に確認してもらうこととした。

○ 用地要件について、需要予測では年間平均来場者数が 2 万人に達していないため、2.5 万人収容のケースの検討もすべきではないか。

⇒ 検討は 3 万人規模で行う。ただし、旧市民球場跡地については 3 万人を下回る規模とした場合における諸状況も参考にする。

○ アクセス性について、自動車利用の「高速 IC からの利用性」に、高速バス利用客も加味するため、山陽自動車道の IC も追加すべき。

⇒ 山陽自動車道の IC を追加

○ 付加機能（多機能化・複合開発）について、単に商業施設の整備が可能というだけで収益性が見込める場と評価するのではなく、試算を行ったうえで評価すべきではないか。

⇒ 評価の考え方のおりとした。

○ 付加機能の評価は、付加機能としての施設が設置できるかどうかを評価すべきである。

⇒ 評価の考え方のおりとした。

<その他の意見>

○ 港湾計画や土地利用計画の見直しにどれくらい月日がかかるのか、次回協議会で県の担当部署から説明してほしい。

⇒ 県の担当部署が説明を行う。

○ 以前、建築士に旧市民球場跡地において、スタジアムの図面を書いてもらったが、高さ制限については、3 万人収容のスタジアムでもその形状の工夫でクリアできていた。製作者の了解が取れば、次回の協議会に図面を提出したい。

(3) スタジアム・コンセプト 【資料 5】

・提出資料により各候補地のスタジアム・コンセプトについて議論した。

次のような意見があった。なお、コンセプトについては必要に応じて今後も議論する。

○ 候補地の制約条件は、コンセプトと直接関係がないので記載すべきでない。

⇒ 制約条件についてはコンセプトとは直接関係しないため、他の部分において記述することにした。

○ 報告【資料 6】

事務局からアンケートの調査結果（速報）を基に応募状況等について報告し、詳細は次回協議会で報告することとした。